

2024年6月21日

米州開発銀行が発行する 「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」への投資について

大樹生命保険株式会社(代表取締役社長 吉村 俊哉、以下「当社」)は、この度、米州開発銀行(Inter-American Development Bank、以下「IDB」)が発行する豪ドル建サステナブル・ディベロップメント・ボンド(以下「本債券」)への投資を実施しました。

IDB は、中南米・カリブ海諸国における持続可能な公共プロジェクトや国への資金提供を通じ、同地域の経済・社会・環境面での発展に寄与することを目標として設立された国際機関です。本債券への投資は、その中でも生物多様性、人的資本、気候変動対策等のテーマに関する包括的な取組みを支援するものです。アマゾンの熱帯雨林の保護、再生、持続可能な管理を含む、SDGs(持続可能な開発目標)の「15 陸の豊かさを守ろう」に貢献します。

アマゾン地域は、世界最大の熱帯雨林を有する地域であり、地球上の気候変動を調整する重要な役割を果たしています。IDB は、アマゾン地域を支援する包括的なプログラム「アマゾン・イニシアティブ」を策定し、バイオエコノミーとクリエイティブエコノミー(※)、人、森林破壊への対策、持続可能なインフラ・都市・コネクティビティ、持続可能な低炭素農業・畜産・林業の5つをアクションの柱と定めています。優先領域のひとつである、バイオエコノミー分野では、自然資源を利用した雇用機会を提供することで、アマゾン地域の熱帯雨林を維持しながら、アマゾン地域に住む人々の生活を向上させ、地域の健全な発展を目的としています。

本債券は、IDB による中南米・カリブ海諸国の経済・社会発展のためのプロジェクトに充当される予定です。

これまでも当社では、環境債(グリーンボンド)や社会貢献債(ソーシャルボンド)、ESG 投信などへの投資を行ってきました。今後も引き続き生命保険会社としての社会的責務をふまえ、資産特性に応じて環境・社会・ガバナンスの課題を考慮した資産運用を行い、環境や地域・社会と共生し、経済・企業の安定的な成長と社会的価値の調和的な発展を目指します。

<本債券の概要>

発行体	米州開発銀行
格付	AAA(S&P)/ Aaa (Moody's)
発行総額	40 百万豪ドル
償還期間	15 年

(※)「バイオエコノミーとクリエイティブエコノミー」とは、森林資源を活用し、付加価値の高い製品やサービスを生み出し、持続可能な経済活動を促進することを意図しています。

〈参考:「アマゾン・イニシアティブ」のプロジェクト事例〉

IDB では、以下の例をはじめとする、アマゾン地域の包括的な支援に関するプロジェクトが行われています。

エクアドルのアマゾン地域における持続可能なバイオビジネス・ファイナンス

エクアドルの環境を保全しながら、自然資源を基盤とした生産活動を促進し、経済的かつ包括的な開発に貢献するプロジェクトです。国立人民金融公社(CONAFIPS)の金融メカニズムを通じて、バイオビジネスへの信用供与と投資へのアクセスを増やし、アマゾン地域の経済活動を持続可能なものにし、地域の住民の生活環境の改善を目指すことを目的としています。

スリナムにおける生産的かつ持続可能な開発のための資金調達プログラム

国土の大部分が熱帯森林に覆われている国・スリナムの中小零細企業の生産性向上に貢献することを目的としています。

スリナム国立開発銀行の制度的能力を強化し、適格な中小企業に運転資金(最長1年)および生産的プロジェクトへの投資(最長3年)のための融資を行っています。

ペルーのプーノ市フリアカにおける上下水道拡張・改善プロジェクト

アマゾン地域の熱帯雨林に隣接する、ペルーのプーノ市フリアカの衛生施設の設計・建設を行い、水道会社による適切なサービスの提供のサポートを目的とし、社会の健全な発展に貢献します。



©IDB



©IDB

【本件と関連性の深い SDGs テーマ】



以上